

この取扱説明書（据付工事説明書付）を必ずお読みください。

お客様へ
工事店様へ

ソーワテクニカ ポータブルファン

1812875HC3602



取扱説明書（据付工事説明書付）

形名

DE-20CSB1 単相 100V 50/60Hz
DE-25DSB2 単相 100V 50/60Hz

お客様へ

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 「取扱説明書（据付工事説明書付）」は大切に保存してください。
- 添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」は、大切に保存してください。
- お客様ご自身の工事は、故障や事故の原因になります。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店・工事店様から説明を受けてください。

工事店様へ

- 据付工事を始める前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく据付けてください。
- 据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。
- この取扱説明書に従って正しい使い方をお客様へご説明ください。
- この製品は単相製品です。
- モータに過負荷保護装置として、温度ヒューズが内蔵されています。拘束、過負荷、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準以上に高い場合は、温度ヒューズが熔断し回転が止まります。温度ヒューズが熔断した場合、通電不可となり再運転できません。電源を切り、専門の工事店様へモータ交換を依頼してください。

据付工事終了後は、必ずお客様にこの説明書をお渡しください。

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

お客様へ
工事店様へ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	警告		注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	

	禁止		接触禁止		指示に従う
	分解禁止		ぬれ手禁止		アース確認
	水ぬれ禁止		浴室取付禁止		プラグを抜く

お客様へ

工事店様へ

	警告		警告
	製品を水や消毒液につけたり、消毒液をかけたらない ショート・感電・火災の原因		爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない 爆発や火災の原因
	どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない 火災・感電・けがの原因 修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください		定格電圧・定格周波数以外では使用しない 火災・感電の原因
	運転中は危険ですから、製品の中へ指や物を入れない けがの原因		送風用途以外には使用しない 火災・感電・けがの原因
	電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は製品には絶対にふれない 突然運転し始めてけがや感電の原因		電圧調整による回転制御はしない モータ焼損の原因
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電やけがの原因		雨・水のあたる場所には据付けない ショート・感電の原因
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造物と金属ボディの部分が直接接触しないように据付ける 〔電気設備の技術基準 解釈第167条3項〕 漏電したとき、火災の原因		煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気口を使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの給気口を設置する 一酸化炭素中毒をおこす原因
	電源プラグの刃および羽の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く 火災の原因		雨・水のあたる場所には据付けない ショート・感電の原因
	振動が大きい、羽根が回らないなどの異常時には、使用を中止する 落下・焼損の原因		指示に従う
	据付けは専門業者に依頼する 漏電・感電や災害の原因		プラグを抜く
	お手入れや保守点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因		アース確認

お客様へ

工事店様へ

	注意		注意
	製品に異常な振動が発生した場合は使用しない 製品・部品の落下によりけがの原因		直接炎があたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因
	1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない 部品の破損・落下によるけがの原因		浴室など湿気の多い場所（相対湿度80%を超える場所）には据付けない 感電や火災の原因
	運転中は製品を移動しない けがの原因		開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する 端面などでけがの原因
	衝撃を与えない 感電や火災の原因		電気工事、アース工事は電気工事士が行う 電気工事士以外の人の工事は感電や火災の原因
	長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因		
	羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃をする 振動による部品の破損、落下によるけがの原因		
	お手入れや保守点検の際は手袋を着用する 端面などでけがの原因		

2. 据付け前のお願い

工事店様へ

■次のような場所には据付けしないでください（故障の原因になります）。

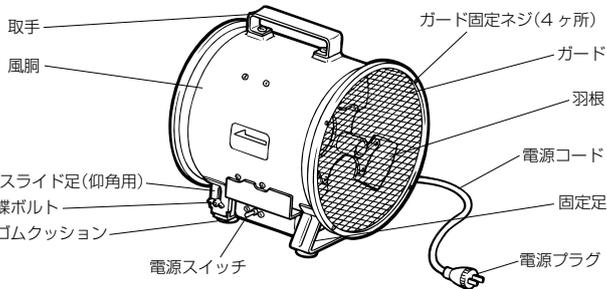
- 使用可能な温度範囲（-10℃～+50℃）を超える場所
- 常温で相対湿度80%を超える場所
- 氷結するおそれのある場所
- 雨または風にさらされる場所
- 塩害地域（塩害地域においては早期にさびが発生するため定期的に保守点検・清掃を行う必要に応じて交換を行ってください）
- 腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
- 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのある場所
- 酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所
- 堆肥舎、ふん尿の上など腐食性ガス、水蒸気の発生・滞留する場所
- 厨房等で油煙・蒸気が直接製品にかかる場所
- 有機溶剤を使用している場所
- 吸込側、吐出側に遮へい物がある場合

- 振動のない水平な場所で使用してください。
- 落としたり、固い物にあてたりしないでください（故障の原因になります）。
- 風胴の中へ手や物などを絶対に入れないでください（けがの原因になります）。

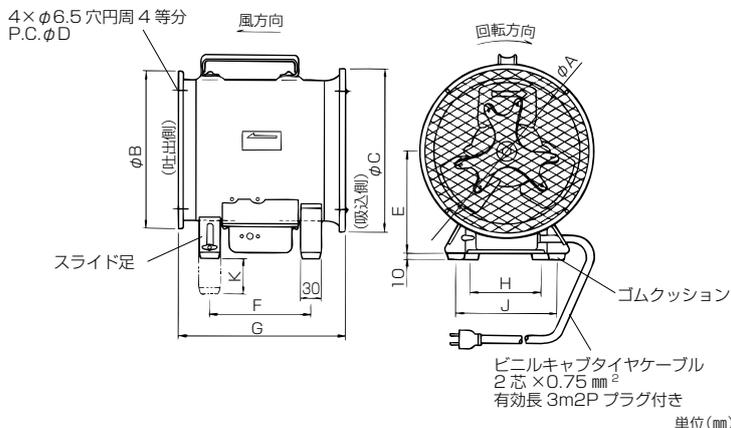
3. 各部のなまえと外形寸法図

工事店様へ

各部のなまえ



外形寸法図



■変化寸法表

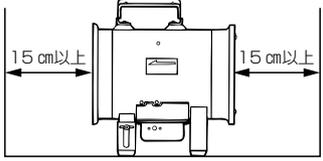
形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
DE-20CSB1	198	230	250	215	147	145	240	100	145	35
DE-25DSB2	250	290	315	270	180	175	271	160	200	50

単位(mm)

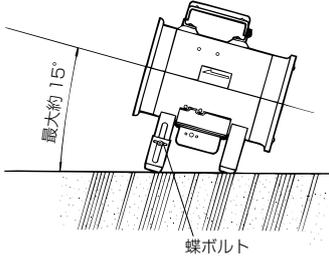
単位(mm)

4. 据付方法

工事店様へ



風の抵抗にならないよう左図の寸法を
あけてください。



スライド足の使用について
■両側の蝶ボルトをゆるめてお望みの
角度に合わせて、しっかりと締付け
ます。

ダクトの取付けかた
フレキシブルダクト（システム部材）
を取付けることができます。

取付可能ダクト長

形名	DE-20CSB1	DE-25DSB2	
フレキシブルダクト	FD-20A1 内径 255mm	FD-30A1 内径 300mm	
使用状態	直管	吐出側	20m (5m×4本)
		吸込側	15m (5m×3本)
	90°曲げた場合	吐出側	10m (5m×2本)
		吸込側	10m (5m×2本)

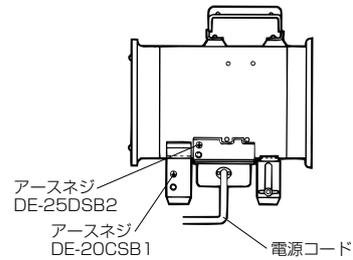
5. 電気工事

工事店様へ

警告

- 定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因
- アース工事を必ず行う
故障や漏電のときに感電の原因

●電気設備技術基準に基づき、電気工事士によるD種接地工事（アース）を行ってください（故障、漏電時の感電防止）。
アースは下図の位置にあるアースネジを使用してください。



- アース工事を行う際、アース線の端部には丸型端子を使用してください。丸型端子は、材質が銅または黄銅でスズメッキ品等、さびに強い品物を使用してください。その他の場合、水の浸入によりさびが発生するおそれがあります。さびが発生した場合は交換してください。
- 電源は100Vを使用してください。200Vを使用しますとモータの焼損の原因となります。

6. 試運転

工事店様へ

■電気工事終了後、正常に運転できるか使用者立会のもと試運転を行ってください。

- 据付工事終了後、次のことを確認します。
 - (1) 製品は確実に据付けてありますか
 - (2) 電源コードに傷・いたみはありませんか
 - (3) 正しくアース工事がしてありますか
 - (4) 電源電圧、周波数は正しいですか
- 電源スイッチを「入」にして試運転を行う
 - (1) 異常な振動や騒音はありませんか（異常がある場合は運転を停止し、据付場所や電気工事内容を確認してください）

7. 使用方法

お客様へ

電源スイッチは「入」で運転し、「切」で停止します。



- 電源スイッチを右側に倒すと「入」、左側に倒すと「切」になります。

- お願い
- スイッチは軽く動かすだけで動作しますので無理に押さないでください。
 - スイッチ操作は必ず床（地面）に置いて行ってください。
 - スイッチで極端な連続運転は行わないでください。
 - 運転中は持ち運ばないでください。
 - 停電のときは必ず電源スイッチを切ってください。通電後、急に羽根が回り、事故を起こす恐れがあります。

8. 点検・お手入れ

長い間ご使用の製品は、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。

警告

- 保守点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行う
感電やけがの原因

注意

- 保守点検の際は手袋を着用する
端面などでけがの原因

3か月に1度の清掃の際、下記の点検を行う。

	点検項目	処置
さび	●製品のナット・ボルトがさびていませんか ●羽根および羽根取付用の止めネジがさびていませんか	●さびが部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください（部品破損および羽根破損によるけがのおそれがあります）
ガタツキ	●羽根やモータは確実に止められていますか	●ガタつきがないようにナット・ボルトなどを確実に取付けてください（製品破損および羽根破損によるけがのおそれがあります）
損傷	●モータの外観が変色していませんか ●電源コードにキズなどありませんか ●羽根に亀裂などありませんか	●モータ交換をしてください ●モータ交換をしてください ●羽根交換をしてください（羽根破損によるけがのおそれがあります）
ほこり	●モータなど温度の高い部分にほこりの付着はありませんか	●清掃してください

1年に1回程度

異常音	●ボールベアリングの寿命は約1万時間ですので使用状況によっては、点検のうえ交換が必要です
さび	●さびが部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください
電源コード	●電源コードにヒビ割れ等がある場合は、モータの交換をしてください

羽根などの清掃

- 約3か月に1度を目安に清掃する。
- お手入れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
- ほこりの多いところではガード固定ネジ4本をはずし、ガードを取りはずして清掃してください。ガードを取りはずして羽根に付着した汚れをふき取ります。

全体の清掃

- 油・粉じんなどの可燃性の汚れが製品に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となるおそれがあります。必ず定期的（1年目安）に清掃してください。
- 古くなった製品は買い換えてください。

お願い

お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けん材入りの洗剤（変質・変色する原因になります）

9. 修理を依頼する前に

お客様へ

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のためブレーカを切り、お買上げの販売店・工事店に点検修理をご依頼ください。費用については販売店・工事店にご相談ください。

現象	点検と処置	点検実施者	
		工事店様	お客様
通電しても回転しない	●電源の接続は正しいですか（正しく接続する） ●ブレーカが切れていませんか（入にする）	○	○
運転中に異常音や振動がする	●羽根の締め付けがゆるんでいませんか（締め付け直す） ●本体が確実に据付けられていますか（据付け直す） ●全面にさびが発生していませんか（さびの発生した部品を交換する）	○	○
焦げ臭いにおいがする	●羽根は軽く回りますか（羽根に何か引掛かっている場合は取り除く） ●周囲温度が異常に高い場所で使用していませんか（据付場所を確認する） ●温度が異常に高い場所で使用していませんか（据付場所およびモータ内部の腐食確認後モータ交換する）	○	○

（注）モータに過負荷保護装置として、温度ヒューズが内蔵されています。拘束、過負荷、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準以上に高い場合は、上記過負荷保護装置が自動的に動作し回転が止まる場合がありますので、電源を切り原因を取り除いてください。再運転の場合は、以下を実施してください。

（処置）ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

10. アフターサービス

お客様へ

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申し付けください。なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」参照）にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの ソフトテクニカ ポータブルファンの補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品は、日本国内用に設計されているので、国外では使用できません。

11. 仕様

お客様へ

工事店様へ

形名	羽根径 (cm)	電源	極数 (P)	定格出力 (W)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	使用限界静圧 (Pa)	騒音 (dB)	質量 (kg)
DE-20CSB1	19.8	単相 100V 50/60Hz	2	100	115/160	1110/1260	235/284	60/63	5.5
DE-25DSB2	25	単相 100V 50/60Hz	2	200	240/310	2100/2400	245/294	60.5/64	8.3

※風量は、オリフィスチャンパー法で測定した静圧OPa時の値です。

※騒音は吸込側前方斜め45°、1.5mの値です。

※周囲温度は-10℃～+50℃、常温において相対湿度80%まで使用可能です。この範囲を超えますと焼損、変形、回転不良、破損につながるおそれがあります。

製造販売元

株式会社 ソフトテクニカ
〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川中垣外 1646-45
TEL 0573-78-0302

技術指導元

三菱電機株式会社

この説明書は、再生紙を使用しています。